2015年　秋季号

未来(あす)のために、現在(いま)を変える

鶴翔

Kaku Shou

つるほ庸介
後援会会報　No.27

〒640-8323
和歌山市太田3丁目7-12　ヤマイチ第一ビル1F
TEL:073-472-3311　FAX:073-472-3334
E-mail:info@tsuruho.com

これからの安全保障…

参議院議員　鶴保　庸介

安全保障法案の長い夜が終わりました。

本会議場での起立採決の瞬間、疲労感と同時に不思議な責任感が襲ってきました。

私たちの世代は自衛隊が違憲であるとは誰も思っていません。東大に入って初めて習う憲法で自衛隊が違憲であると教えられて多くの学生が法学なるものに失望を覚えるくらい、「普通に」存在する組織です。

また学生時代、ホームステイ先の英国で、self defense forceなる英語を使って自衛隊を説明しようとしましたが、全く理解してもらえなかった。というより、self defenseは当たり前じゃないの、と言われて拙い英語でどういう制約があるのかを説明できなかったという苦い経験もありました。

その自衛隊がより説明しやすく現実的なものになりました。これがいいようもない感覚になったのでしょう。言い換えれば、これまではなんだかんだ言っても憲法のせいにして思考停止していればよかったということではないでしょうか？　私たち国会議員全員が、これまでとは比べ物にならないほど真剣に我が国の行く末を考え、どうあるべきかを考えねばならない時がやってきたということです。

ただ、言うまでもなく、我が国には平和国家としてのあゆみと憲法の制約があります。

したがって前のめりの議論は到底できるはずもありませんし、するべきでもありません。

しかしそれでも、今回のことで国際社会の中で我が国がどう見られ、何をなすべきなのか。憲法上の制約とはどこまでのことを言うのか。より深く考える必要が出てきたのは事実です。だからこそ、なぜそんな面倒をする必要があるのか、と、多くの国民が戸惑っているのも事実でし

（2ページへつづく）

プロフィール

鶴保庸介（つるほようすけ）
参議院議員（和歌山県選出、自由民主党）
昭和42年（1967）2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒
○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官（2期）、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣 ○参議院自民党政審会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会事務局長

おもな内容

●鶴保政審会長――また、大きな一歩を
●中古住宅市場の「流通革命」めざして
●議員連盟で、観光、ＩＴ産業等推進！
●間に合わせよう、インフラ整備！
●先の先を読み、いまやるべきことを！

（1ページからつづく）

よう。戦争が起こるかもしれない、と、多くの人が批判する本質は実はここにあるのかもしれません。

それは言い換えれば、周辺諸国の安全保障情勢が変化したことは認めるにしても、①本当にそれは日本の存立を脅かす危機なのか？②その危機はこうした防衛法制の整備でしか乗り越えられないものなのか？③法整備をした場合我が国は世界のしたたかな戦略の渦に本当に巻き込まれやしないか。自国の意見なるものを構築し、それを世界に発信する能力があるのか、という点に集約できます。

しかし私は、①の論点について、周辺諸国との軍事衝突の可能性がないとは残念ながら言えないと思います。中国共産党の正当性は旧帝国日本への戦争勝利という原点にある以上、ことあるごとに日本の歴史問題に言及し、摩擦を起こすことを厭いません。このことを背景に共産党の（国軍ではありません）軍を動かす中央軍事委員会のメンバーは習近平氏以外全員制服組という状態で偶発的な挑発行為が本格的な戦闘に発展する可能性は全くないとは言えません。

また、北朝鮮の近い将来の政権の破滅がどのような混乱を生み出すかは予断を許しませんし、ロシアの強硬な姿勢は中国との関係修復が背景にあるものと考えてよいでしょう。

そうした状況の中で偶発的、局地的な摩擦が、本格的な武力紛争に発展しないためには日本に抑止力は必要です。

外交努力の上に…

また、論点②については、政府答弁にあるように、第一義的には外交努力によってなし得るものであると思いますが、各国でこれからますますナショナリズム化が進むうえ、一国との関係をその対象国との二国間関係でのみとらえるのではおぼつかない時代が来ています。この複層的な関係を完全にコントロールすることは大変に難しいと思います。

また、中国では未だにテレビをつけると残酷な日本兵が中国人民を略奪、殺戮をするというドラマをいつもどこかのチャンネルで長々とやっています。嫌になってほとんどの中国人はもう見ないとも言いますが、日本にきた中国観光客のほとんどの日本の感想はいままで習ってきたことと違って礼儀正しく優しい人が多かったというもので、うらを返すと、10億の民のほとんどの脳内には洗脳に近い先入観が沈殿しているのではないでしょうか。この例が示すようにちょっとした小競り合いを起こさない外交努力が報われないことを当然想定しておくべきです。

そうすると一番の問題は論点③です。

まず、日本は自ら戦争をする国ではない。でも巻き込まれることはありうるのではないか。という心配はいささか身勝手な論理だということを肝に銘じておくべきです。

巻き込まれて、などという表現は我が国の存立危機にたいして自らが取るべき道ではなかったが、仕方なくということを言外に示しています。進むかとどまるかは我が国の主権の発露です。ここにどんな言い訳もききません。

では日本は本当に戦争を『しない』と言い切れるのか。これには先の日本がなぜ戦争へと突入していったかを考察してみる必要があると思います。

歴史から学ぶこと

なぜ日本は戦争したのか。いくつかある要因のなかで私は政治家として当時の政治制度、社会制度に注目してきました。

ご存知の通り、戦前の政治は政友会と、民政党の二大政党が互いにしのぎを削っていました。

そのため、国民に心地よい政策が争って出されたのは事実です。やれ福祉を充実、やれ普通参政権の実現と、現代も変わりませんね。

しかし、軍事に関してはどうだったのかというと、案外慎重な意見が多くあったようです。いわく腹切り問答や反軍演説などが有名ですが、大政翼賛に至るまでは、軍部の動きに対しては国会でたくさんの批判がなされていました。

軍部の暴走が決定的になったのは5・15事件や2・26事件を経て昭和11年に軍部大臣現役武官制度の復活がなされたことであろうと思います。

すなわち、この制度復活により自分たちの意向に沿う総理を出さなければ、大臣を出さないという手法で組閣そのものをさせないことが出来るようになった。国民は不満はあっても軍部の意向に沿わざるをえなくなった。

広田内閣は2・26事件の首謀者を逃すまいとして制度復活をさせたそうですが、結果として自らの内閣の陸軍大臣との不和を収めることが出来ず総辞職。悪しき前例を作る第一号となってしまいました。

ここでの教訓は、軍部はずっと自らの地位向上と予算の拡大を求めていたこと。文民統制は何があっても守らねばならないこと。であります。

これは当たり前のことのようですが、現代でも大変重要なことだと思

います。

中国は常に軍事費の拡張があってそれが周辺諸国との摩擦になっていることは周知の事実です。これこそまさに戦前の我が国になぞらえて考えることが出来ると指摘する人は少なくありません。

だからこそ、性悪説に立って安全保障戦略を考えねばなりませんし、失礼ながら我が防衛省においてもこのことは当てはまると考えるべきです。

そしてだからこそ、文民統制が必要なのです。

ただ、総合的判断が求められる、文民も、極端にかたよった考え方の持ち主がその統制の任に当たったとしたら同じことですし、そうでないにしても常に誤りがない統制などありえません。

今回の安全保障法制の議論のなかでアメリカの戦争に巻き込まれる、という懸念が多く出されました。政府の答弁は「あり得ない」というものでしたが、私はそうは思いません。

事実、イギリスは同盟国アメリカの要請に従ってイラク出兵を決断し、多くの血を流すことにもなりましたが、出兵の大義名分であった大量破壊兵器は最後まで発見されず、ブレア政権の判断は間違ったもの、という評価を国内では受けています。

情報を圧倒的に握るアメリカと対等に渡り合えるだけの判断材料を持ちえない以上、こうしたことは今後も起きうるとみてよいでしょう。

判断ミスをチェックするために

したがって、決断が誤りを犯す可能性に思いをいたすべきです。

すなわちその判断の是非については幾重にもチェックする機会をもうけておき、責任の所在もはっきりさせておくべきです。

その意味で今回の法整備の参議院の審議で事前、最中、事後の三段階に分けて国会の承認を必要とする付帯決議を入れたのはとてもよかったと思います。民主党などは対案も出さずにこれを法制化すべきと批判していますが、付帯決議以外に党首会談での覚書にサインし、閣議決定までしている以上、この原則を曲げるときはよほどの必要性が問われることになり、十分に目的は達成されると思います。

また、これにより判断根拠を示さずに軍事的決断をしたり、誤った判断を下したりした場合、責任を問われることにもなるでしょう。

世論と情報公開

さらに、指導者の決断に大きな影響を与えるのは、世論です。当時はどうだったか。

様々な文献を読みましたが、これについてははっきりとした輪郭をつかむことはできません。今日のようなマスコミ、世論調査は発達していませんので、なにが多数意見であったか、は測りかねるからです。例えば、①5・15事件のあと、首謀者たちの処分についての嘆願運動があったことはつとに有名ですが、なぜ2・26事件のときはこれを批判する声が多数だったのか。②満州国の成立に狂喜乱舞した国民はその後の日中戦争まで勝利を疑わなかったというが、軍による情報統制があった中であるとはいえ、一億総国民が最後まで勝つと思っていたというのはいささか誇張にすぎるのではないか。③浜口内閣のときのロンドン軍縮に多くの国民は賛意を示したらしいが、その三年後の国際連盟脱退に拍手したのも国民である。等々理解に苦しむ資料があまりに多いからです。

もしこれらが世論の実体だったとしたら、世論はうつろいやすく、大局的判断は国民にはできないということになってしまいます。

そうでないことを担保するためにも、常に世論が冷静な判断ができるようにするためにも、環境を整えることは大切です。

情報公開、中立公平な報道の自由の保証、経済危機の回避などですが、どれも平和維持のためだとどれだけの人が意識しているのでしょうか。

特に、中立公平な報道をとでも政治家が言おうものなら、すぐに批判が飛んできそうな昨今、何をもって中立かという議論そのものがなされていないことは気になります。

スポンサーが偏向した構成を理由に降板するといった番組もありましたが、もし仮にそれが本当に偏向的なものであったなら、たとえそれが戦争回避のトーンで報道されたものであったとしても、結果として狂った周辺国の侵略を促すことになったり、国民に事態の深刻性を誤らせたり、国民に総ヒステリーを起こさせたりすることになる可能性があると思います。

私たちの国は私たちの手で守りたい。たとえそれが犠牲をしいるものであるにしても、他国の蹂躙を許す国にはしたくないというのが多くの国民の願いではないでしょうか。

そして、そのことを貫徹するためにも、安全保障に関する不断の努力が必要なのだろうと思います。

批判は覚悟。私は自身の思いをもって今回の安全保障整備を支持すると同時にこれからも対話の中で不断の改良を続けることをお約束したいと思います。

（談）

国会報告

鶴保参議院自民党政策審議会長

また、大きな一歩を

鶴保庸介議員が、参議院自民党の三役、政策審議会長に就任してちょうど1年――。党の法案提出の責任者として、与党内調整と与野党攻防戦の最前線で日々奮闘しています。

この経験は、みなさまのご支援同様、「政治家・鶴保庸介」をさらに大きな存在へと押し上げてくれるに違いありません。この1年は、その大きな一歩になったはずです。それはまた、さらなる一歩、飛躍を期待させるものです。

その期待を大きく膨らませながら鶴保政審会長の国会内外の活動を報告していきます――。

本会議で答弁に立つ「一票の格差」是正の選挙法改正

ご存知のとおり、「安保法案」の前に国会の焦点になっていたのは「違憲状態」とされている参院選挙の「一票の格差」を是正する公職選挙法の改正でした。

上の写真は7月24日、改正案の提出者を代表して鶴保政審会長が参議院本会議で答弁に立っているところです。改正案はこの後、賛成多数で可決され、衆議院に送られました。

改正案は、野党4党（維新、次世代、元気、新党改革）との合意ができて、共同提出されました。「鳥取・島根」と「徳島・高知」の2つの合区（定数計8を4に）を含め、議員定数を「10増10減」するものです。

鶴保政審会長は、改正案の提出前、合区になる4県と定数削減（それぞれ4から2）の宮城、長野、新潟に赴き改正案の緊急・必要性などを説明。そして削減分10を人口の多い北海道、東京などに回して「一票の格差」是正を実現していったのです。

鶴保議員の活動日誌

三月

1日　フジテレビ「新報道2001」出演
2日　部落解放同盟第72回全国大会、政審JA XA調布航空・宇宙センター視察
3日　全日本不動産政策推進議連役員勉強会
4日　政策審議会、国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会、日本・ネパール友好議連総会
5日　鳥獣捕獲緊急対策議連総会
6日　政審法案勉強会
7日　全国幹事長会議
8日　第82回定期党大会
9日　自民党役員会
10日　観光立国調査会、役員連絡会、政調審議会、総務会、執行部会
11日　中古住宅市場活性化小委員会、資源管理WT会議、政策審議会、東日本大震災「祈りの日」式典、東京鶴の会
12日　政調審議会、整政連懇親会、道路運送経営研究会春季パーティー
13日　政審法案勉強会、鳥獣特委・議連合同役員打合せ、組込イノベーション議連総会
14日　後援会メンバーとのゴルフコンペ
15日　地元挨拶まわり
16日　参議院議員食堂にてクジラ料理を食べる会、党役員会
17日　選挙制度改革インナー会議、第3回全日本不動産政策推進議連役員勉強会、中古住宅市場活性化小委員会幹部会、全国土地家屋調査士政治連盟第15回定時大会懇親会
18日　政策審議会、捕鯨勉強会、財政再建に関する特命委員会
19日　資源管理WT会議、法務委員会、鳥獣特委・議連合同会議、中古住宅市場活性化小委員会
20日　政審法案勉強会、中古住宅市場活性化小委員会メンバーでの懇親会
21日　後援会メンバーとのゴルフコンペ
22日　古座川町鳥獣食肉処理加工施設竣工式・内覧会・試食会、串本町国政報告会
23日　大阪府副知事へ国道371号の件での陳情、鯨肉取扱い業界による状況説明会
24日　インドネシア共和国ジョコ・ウィドド大統領歓迎レセプション

衆議院特別委員会で説明
参議院の抜本改革を強調

参議院から衆議院に回された公選法改正案は7月28日午前に開かれた政治倫理・公選法改正特別委員会で審議され、賛成多数で可決。その日の午後、衆院本会議に緊急上程されて可決・成立しました（「選挙権年齢18歳以上」に引き下げの来年夏の参院選挙から適用。鶴保議員も任期を迎えます）。都道府県単位の参院選挙区に「合区」が導入されるのは初めてのことです。

その衆院の特別委員会で、法案の発議者として説明、質疑応答を行ったのが、鶴保政審会長でした。

連立相手の公明党との間で賛否が分かれ、党内でも合区対象県の議員中心に反対があった改正だけに、質疑が白熱。なかでも、この程度の変更では改正にならないとの野党側の反論に対して、鶴保政審会長は「今回の附則をよくお読みいただきたい」と切り返して附則を説明。そこには次々回の平成31年参院選に向け、「選挙制度の抜本的な見直しを引き続き検討し、必ず結論を得る」と明記されています。

鶴保政審会長は、「各会派の先生方と検討を重ねた結果、『参議院のあり方についての検討を踏まえ』との一文を入れました。最高裁判決で一番問われているのは、選挙区の定数是正もさることながら、その根本にある参議院制度、参議院のあり方、このことが最も問われ、重きを置かれていると理解しています。これには各会派の先生方もほとんど異論のないところですから、全参院議員、全会派で、このあり方についての検討を行うことが第一義と考えております。そのことが抜本的な見直しになるという理解をいただければと思います」と強調、来夏に向けての喫緊の課題の改正案のスピード審議、成立を実現しました。

質疑に示されたように、参議院の抜本改革という次なる課題に向けてのリーダーシップも期待されています。

【鶴保のひとこと】 もちろん参議院のあり方の検討、抜本改革にもしっかり取り組んでいきます。

米国では中古住宅が市場のメイン
全米リアルター協会会長と会談

5月26日、来日中の全米リアルター協会（NAR）のクリス・ポリクロン会長（右）らの訪問を受けて会談をしました（衆議院第2議員会館）。同協会は、1908年にシカゴで設立された米国最大の不動産業界団体。鶴保議員は一昨年5月、ゲーリー・トーマス前会長とも懇談をしています。

米国の住宅市場は、新築重視の日本とは大きく異なり、鶴保議員の持論である「中古住宅市場の活性化」のモデル的な市場と言えます。しかも、現在の米国の住宅ストック市場は4割以上の住宅が1969年以前に建築されたものだそうです。

ポリクロン会長は、「米国には新しい家にはない魅力を求めて古い家を買う人がたくさんいる」「家を所有することに誇りを持ち、家は買って終わりではなく、長い年月をかけて育てていくもの」など、会談やその後の国内の講演などで、非常に示唆に富む考え、見方を示してくれました。

四月

1日 政策審議会
2日 中古住宅市場活性化小委員会、臨時総務会
3日 東京パーティー「自民党参議院政策審議会長鶴保庸介君と明日の日本を語る会」
4日 紀の川市桃山まつり
5日 「ピンクリボンサイクリング in 紀の川」開会式&閉会式
6日 地元挨拶まわり
7日 観光立国調査会、法務委員会
8日 大阪府議選挙・とのもとマリ子候補応援
9日 中古住宅市場活性化小委員会打合会、本会議
10日 吉川たかまさ候補危機突破大集会（札幌・北海道議選）
11日 後援会メンバーとのゴルフコンペ
12日 県武術太極拳連盟定期総会
13日 南九州観光誘客促進連合通常総会研修会で講演
14日 法務委員会、住宅産業新聞インタビュー取材、与党選挙制度打合会、捕鯨対策特別委員会・議連合同会議
15日 日本経済再生本部規制改革推進委員会勉強会、政策審議会、デフレ脱却調査会、水産部会
16日 木質バイオマス・竹資源活用議連総会、中古住宅市場活性化小委員会、法務委員会、参議院ASEAN議員交流推進議連駐日ASEAN諸国大使との意見交換会及びレセプション
17日 選挙制度改革インナー会議、政審法案勉強会
18日 県社会人サッカー連盟通常総会
19日 地元挨拶まわり
20日 役員会
21日 法務委員会
22日 本会議、政策審議会
25日 本会議、ジビエ議連設立総会、水産基本政策小委員会、関空議連総会
26日 法務委員会、中古住宅市場活性化小委員会打合会、日華議員懇談会
27日 政審正副法案ヒアリング
28日 切目川ダム竣工式、高野山道路開通式
29日 地元での桜を見る会
30日 本会議、党役員会、つかだ一郎さんのさらなる活躍に向けて激励の集い
31日 法務委員会、第4回全日本不動産政策推進議連役員勉強会、本会議

国会報告　政策研究&推進

流通革命めざして

中古住宅市場活性化に向けた「8つの提言」まとめる

鶴保議員が取り組んでいる中古住宅市場活性化問題――ここでも大きな一歩を踏み出すことができました。

鶴保議員が委員長を務める自民党政務調査会の中古住宅市場活性化小委員会が5月26日、住宅土地・都市政策調査会（会長＝金子一義衆議院議員）と合同会議を開き、中古住宅市場の活性化に向けた「提言―中古市場に流通革命を」をまとめたのです。

欧米に比べて市場の小さい日本の中古住宅市場の課題を抽出し、市場を拡大するために必要な改革を「8つの提言」にまとめました。提言には、全国の不動産会社の共通データベース「レインズ」の物件情報に関し、顧客から売却を依頼されながら仲介会社への紹介を拒絶する、いわゆる「囲い込み」を防ぐための罰則強化を含むルールの抜本改革、あるいはホームインスペクション（住宅診断）等の活用促進、長期優良住宅の普及（長期優良住宅認定制度の創設など）、リフォーム履歴等の保存・活用、査定の見直しなど市場慣行の抜本的改善、不動産総合データベースの構築や新たなビジネスモデルとその環境整備。そして「増大する空き家の市場での流通・活用の促進」も明記され、その方策も盛り込まれました。

住宅専門紙には、「会議後、小委員会の鶴保委員長は『提言は、十数回の議論を積み重ねた力作であり、中古市場の活性化に向けての初めての提案だと思う。まだ粗いところはあるが第一歩として示した』とし、市場活性化に向けた諸問題の抜本的な解決への意欲をみせた」と報じられるなど、住宅流通業界の注目の的になっています。

今後は、この提言をもとに宅地建物取引業法の改正や来年度予算に反映させ、政策に移し替えていくことが課題になっています。

そのため、鶴保議員は6月17日、首相官邸において菅官房長官と面会、提言の説明や政策実現への助力の要請などを行いました（写真上）。

「レインズ改革」では大きな反響　囲い込みを許すなと

提言の一つ、業者間情報「レインズ」の物件の囲い込みの実態と対策については、たとえば「テレビ東京」の「ワールドビジネスサテライト」のインタビューを受けました。

同番組は5月26日放送（和歌山で

23日　財政・社会保障改革に関する勉強会、航空対策特別委員会打合会、法務委員会
24日　本会議、人事審査委員会、政審正副会長会議
25日　後援会メンバーとのゴルフコンペ
26日～27日　地元挨拶まわり
28日　政調正副会長会議、日・ネパール友好議連総会、政調審議会
29日　志帥会・開創1200年高野山研修会
30日　志帥会・開創1201年高野山研修会

五月

1日～3日　地元挨拶まわり
4日～6日　シンガポール視察
7日　観光立国調査会ユニバーサル社会推進議員連盟「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けたバリアフリー整備に関する現地視察」（東京体育館）
8日　日本百貨店協会第67回定時総会記念パーティー
9日　近畿ハンドボール協会幹事会・総会・懇親会
10日　和歌山JC茶道同好会・あさも会20周年記念茶会（根来寺）
11日　京奈和自動車道・第二阪和道視察
12日　法務委員会、志帥会参議院議員懇談会、日本港湾空港建設協会連合会総会後の懇親パーティー
13日　本会議、政策審議会、デフレ脱却調査会、文科部会・捕鯨対策特別委員会・議連合同会議、組込イノベーション議連視察
14日　国土強靱化研究会モーニングセミナー、法務委員会、亜東親善協会総会後の懇親会
15日　本会議、国家基本政策委員会両院合同幹事会、議員総会、日本チェーンストア協会平成27年度通常総会記念パーティー
16日　和歌山県病院協会第75回通常総会後の懇親会、辻井グループと仲間たち、慶風高校100周年記念
17日　遠図会懇親会
18日　本会議、党役員会
19日　インターネットTV「超人大陸」インタビュー取材、自民党参議院議員総会
20日　本会議、日・ネパール友好議連緊急総会、国家基本政策委員会理事会、政策審議会、デフレ脱却調査会、党首討論、ちんたい政連と語る夕べ
21日　観光立国調査会、文科部会・捕鯨対策特別委員会・議連合同会議、法務委員会、テレビ東京「WBS」インタビュー取材、選挙制度改革インナー会議

はテレビ和歌山）で、中古住宅、空き家管理、さらに「レインズ」の「物件囲い込み」の内部告発やその実態、事例などを紹介していました。

そして提言中の「囲い込み」対策とともに鶴保議員の「透明化し、納得のいく市場取引にすることが一番大切」とのコメントも紹介していました。

クルーズ船でも観光立国を新たに議員連盟

鶴保議員が大きく道を開けたインバウンド（訪日外国人旅行）の拡大。「アクション・プログラム2014」では外国人旅行者2000万人を目指していますが、その実現のためにも人気が高まっている大型客船観光が注目されています。

そこで設立されたのが「クルーズ船観光振興議員連盟」。その設立総会が6月24日、党本部で開かれました。初代会長は西川公也前農水相。大型客船観光は世界的に大きく伸び、衆参から61人の議員が参加してスタートした議連は、入国手続きの簡素化や港湾整備などの受け入れ態勢の強化に取り組み、5年後に現状の2倍以上の誘客増を目指します。

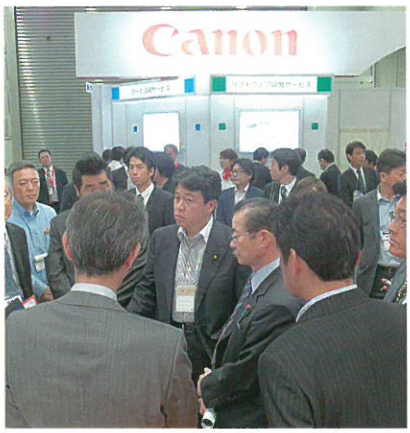
クルーズ（船旅）は「ゆとり」の象徴です。「爆買い」や「ゆとり」の旅など、さまざまなインバウンドにより、さらに観光立国の推進を！

産業競争力の決め手に組込みイノベーション

昨年発足の組込みイノベーション議員連盟（会長・河村建夫衆院議員）では5月13日、東京ビッグサイトの「第18回組込みシステム開発技術展」を視察しました。

「組込み」とは、さまざまなものにコンピューターやICチップなどを組込んで高度な製品とすること。自動車やスマートハウスなどは典型といえますが、いまや身の回りのほぼすべてのものに当てはまるでしょう。鶴保議員らは、関連技術団体間の連携、発展を支援するために、議連を立ち上げたのです。日本は一つ一つの技術は優れていても、世界標準のシステムでは後れをとりがち。さらに脚光を浴びているIoT（インターネット・オブ・シングス）は、これからの産業競争力の源泉ですから、IoT、組込みイノベーションは日本にとって不可欠で、世界をリードするほどにしなければならないのです。

6月24日の議連では、IoT時代の人材育成、欧州の成長戦略の手法についてのヒアリングを行いました。



東日本大震災『祈りの日』式典

これからも決して忘れてはならない3月11日。東日本大震災の犠牲者の冥福と被災地の復興を祈って第4回「東日本大震災『祈りの日』式典」（世話人代表・村上正邦元参院自民党議員会長）に参列。約500人の参列者と共に白菊の献花を行いました（千代田区永田町・憲政記念館）。

22日　本会議、政審正副法案ヒアリング
23日　県行政書士会定時総会懇親会
24日　地元支援者宅でBBQ
25日　全米不動産協会クリス・ポリクロン新会長との懇談会
26日　党自動車整備議連役員会、法務委員会、全国森林環境税創設総決起大会、中古住宅市場活性化小委員会、（一社）日本建設機械レンタル協会定時総会後の懇親会
27日　本会議、政策審議会、臨時総務会、水産基本政策小委員会
28日　法務委員会、（一社）全国治水砂防協会通常総会後の和歌山県関係者との昼食会
29日　本会議、野生動物管理全国協議会主催シンポジウム「野生動物管理のジャパンモデルを考える」で挨拶）、県土地家屋調査士会・政治連盟定時総会懇親会、部落解放同盟鳴神支部交流懇親会
30日　青年部ゴルフコンペ
31日　京奈和自動車道「道の駅かつらぎ西」（地域振興施設）視察

六月

1日　みずほ證券・機関投資家向けセミナーにて講演
2日　政審正副会長会議
3日　本会議、政策審議会、航空政策特別委員会打合会、第27回捕鯨の伝統と食文化を守る会
4日　法務委員会、観光立国調査会・菅官房長官への申入れ、全国LPガス政治連盟平成27年度通常総会後の懇親パーティー
5日　平成28年度和歌山県政府提案・要望に係る説明会、本会議、参議院のあり方検討PT、志帥会パーティー
6日　県トラック協会青年部総会にて講演&懇親会
7日　新鶴会懇親会
8日　全国みかん生産県議会議員対策協議会総会
9日　水産拡大役員会、（公財）タカタ財団第6回助成研究報告会後の懇親会
10日　規制改革推進委員会、本会議、政審正副会長会議、政策審議会、志帥会・西川公也農林水産戦略調査会長就任を祝う会
11日　法務委員会、上川法務大臣へCIQの決議での申入れ、（公社）日本観光振興協会平成27年度通常総会における情報交換会
12日　本会議、デフレ脱却調査会、国家基本政策委員会両院合同幹事会、参議院のあり方検討PT、（公社）全国産業廃棄物連合会

観光立国調査会の活動

鶴保議員が事務局長を務める党の観光立国調査会は、インバウンドのさらなる拡大、増加に向けて活発に活動し、5月21日にはCIQ体制（税関・出入国管理・検疫）についての見直し、検討を行いました。

これは、その直前の5月16～17日、安倍総理が和歌山県を訪問した際、外国人観光客のさらなる増大に向けてCIQ体制の充実について発言したことを受けて行われたものです。

文化財保護で観光立国推進

9月9日の観光立国調査会は、平成28年度観光関係予算の概算要求・税制改正要望の検討とともに、デービッド・アトキンソン氏を招き「観光立国推進と日本の文化財保護について」語っていただきました。

アトキンソン氏は、アナリストから超老舗企業の小西美術工藝社の社長に転じた人。日本の経済や観光を鋭く分析、『新・観光立国論―モノづくり国家を超えて』などの著書もあります。同氏の主張は、日本は世界有数の観光大国になれるポテンシャルを生かしていない、たとえば京都を訪れる外国人は年間200万人、大英博物館だけでも420万人。文化財に関心をもつ外国人を呼び込めていない、文化財を生かし切るために、予算を、雇用を増やし、GDPも引き上げるという著書でも主張している指摘を…。観光立国のさらなる推進のための戦略、発信力のある同氏の主張。参考になりました。

論議スタート 放送アーカイブ議員連盟

放送アーカイブは、現代社会における重要な「文化資産」。それらを広く収集・保存・活用できるようにするために、超党派で立ち上げたのが放送アーカイブ議員連盟（会長＝野田聖子前自民党総務会長）です。

この構想は具体的には書籍などと同じように国立国会図書館がテレビ・ラジオ番組のすべてを録画・録音して保存、館内での利用や将来の世代への伝達を図っていこうというものです。同議連は6月17日、衆議院議員会館で日本民間放送連盟とNHKのヒアリングを実施、鶴保議員も積極的に質疑を行いました（構想には異論もあり、論議の白熱化とともに今後ますます鶴保議員の出番も増えるものと思われます）。

国への要望ヒアリング

6月8日、東京・ホテルニューオータニで和歌山県の「平成28年度国の施策及び予算に関する提案・要望」の説明会。来年度の国の予算編成に先立ち、仁坂知事はじめ県の方々から国への要望事項をヒアリング。

県からは、「行政財基盤の強化、地域創生の推進」「地震・津波対策」「風水害対策」「公共インフラの充実」「産業の振興」「生活の安全・安心づくり」に関する要望、説明を受けました。

13日　第5回定時総会懇親会
　　テレビ愛知「激論！コロシアム」収録、有田市青年部発足会
14日　紀南病院新築移転10周年＆創立70周年記念式典、（医）千徳会・桜ヶ丘病院竣工式
15日　地元挨拶まわり
16日　政調審議会、総務会、執行部会
17日　特別総会、本会議、梅振興議連総会、党首討論、（一社）日本旅館協会平成27年度通常総会懇親会
18日　放送アーカイブ議連総会、（一社）日本建築士事務所協会連合会第63回定時総会懇親会、中古住宅市場活性化小委員会メンバーでの打上会
19日　本会議、水産拡大役員会、参議院のあり方検討PT
20日　紀美野町懇親会、矢野佳世子氏旭日単光章受章記念祝賀会
21日　円応教室生教会記念大祭
22日　党役員会、（一社）住宅生産団体連合会平成27年度定時総会後の懇親パーティー
23日　月刊FACTAインタビュー取材、選挙制度改革インナー会議、捕鯨議連インナー会議
24日　組込イノベーション議連勉強会、平成27年度農水省「消費者の部屋」特別展示クジラ試食会、クルーズ船観光振興議連設立総会
25日　第26回日本ものづくりワールド視察、（公社）全国不動産協会（公社）不動産保証協会定時総会懇親会
26日　選挙制度改革インナー会議、水産部会
27日　海南市国政報告会
28日　地元挨拶まわり
29日　（公社）全国宅地建物取引業協会連合会（公社）全国宅地建物取引業保証協会総会後の懇親会、和歌山県土連・大阪府土連合合同懇談会
30日　物流倉庫振興議連総会、（一社）全国旅行業協会第51回定時総会懇親会

七月

1日　本会議、選挙制度報告会
2日　参議院選挙制度に関する検討会、日本不動産ジャーナリスト会議研修会で講演
3日　本会議、関西後援会・鶴保庸介を囲む会
4日　橋本市消防団 特別表彰「まとい」受章記念祝賀会、県看護連盟通常総会開会式、税理士会の後援会設立総会＆懇親会
5日　「まちづくりかつらぎ」（かつらぎ町）役員と

間に合わせよう、インフラ整備！
「国体」から災害対策、観光振興へ

第二阪和国道の現場視察

和歌山県では、これまでのインフラ整備の後れを取り戻すため、9月26日開会の「紀の国わかやま国体」を目途に多くの事業が急ピッチで進められてきました。5月11日、鶴保議員は、当時「大会までに開通できるの？」と危惧されていた第二阪和国道（大谷～平井間）と京奈和道（紀の川ＩＣ～岩出根来ＩＣ）の工事現場を視察。その視察の中で国交省近畿地方整備局から「国体までに開通」の見通しが示され、地元で大きく報道されました。そして多くの関係者の尽力で、国体開会前に工事を終え、9月12日、開通式典が営まれました。この開通で京奈和道の県内未開通区間は来年度開通予定の岩出根来ＩＣ～和歌山ジャンクションだけになりました。次は「命の道」としての災害対策や観光・地域産業振興…。

第二阪和・京奈和視察（５月11日）

切目川ダム竣工式（３月28日）

京奈和・関空連絡道期成同盟会設立総会
（７月12日・粉河ふるさとセンター）

京奈和自動車道「紀ノ川ＩＣ～岩出根来ＩＣ」開通式典（９月12日）

南紀田辺ＩＣ～南紀白浜ＩＣ開通式典
（７月12日）

一般国道371号高野山道路開通式（３月28日）

県道那智勝浦古座川線「中崎トンネル」開通を祝う会(８月30日)

6日　高野山町石道ハイキング（慈尊院～大門）
　　中古住宅市場活性化小委員会・豊四季台団地（柏市）ユーカリが丘（佐倉市）視察
7日　鳥獣特委・議連合同会議、航空対策特別委員会幹部会、鯨類捕獲調査等に関する検討会議、選挙制度インナー会議
8日　本会議、さけます増殖推進議連総会
9日　法務委員会、選挙制度改革インナー会議、議員総会
10日　観光立国調査会、本会議
11日　県連第14回政経パーティ、木下善之前橋本市長旭日中綬章受章祝賀会
12日　京奈和・関空連絡道期成同盟会設立総会、南紀田辺ＩＣ～南紀白浜ＩＣ開通式典、和歌山市安原・朝日地区懇親会
13日　選挙制度実務者会議、フェローフォーラム勉強会
14日　島根・鳥取出張（選挙制度に関して）
15日　宮城県へ出張（選挙制度に関して）、クジラ給食ＰＴ
16日　長野県へ出張（選挙制度に関して）
17日　選挙制度実務者会議、航空対策特別委員会幹部懇談会
18日　地元挨拶まわり
19日　地元挨拶まわり
20日　観光立国調査会・石川県・岐阜県広域観光周遊ルート視察
21日　選挙制度実務者会議、選挙制度改革問題統括本部・選挙制度調査会合同会議
22日　組込イノベーション議連勉強会、選挙制度改革問題統括本部・選挙制度調査会合同会議、臨時総務会
23日　鯨類捕獲調査等に関する検討会議
24日　本会議、日本建設機械レンタル協会北野一雄副会長黄綬褒章受章祝賀会
25日　田原サヨ子「シルバーユニオンわかやま笑の会」にて国政報告会、和歌山ネットワーク輸送協同組合、土地家屋調査士会・青年部との会合
26日　那智勝浦町国政報告会
27日　本会議、参議院のあり方検討ＰＴ
28日　選挙制度実務者打合会、衆議院・政治倫理公選特別委員会にて答弁
29日　政策審議会、水産政策推進議員協議会総会、夏季後援会軽井沢会合
30日　第18回国土審議会、夏季後援会軽井沢会合
31日　稲田政調会長主催・遠藤利明オリンピック担当大臣ご就任お祝い会

和歌山県から観光による「地方創生」の実現を

一般社団法人日本旅行業協会会長　田川　博己

鶴保先生には、平素より観光振興ならびに、発展のために格別なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本旅行業協会（ＪＡＴＡ）では、「ツーウェイツーリズムによる交流立国」の実現を目指して、海外・国内・訪日旅行の三位一体による需要喚起や政策提言等を行っております。

鶴保先生は、国土交通省大臣政務官、国土交通副大臣時代を通じて、観光立国推進のために腕を振われ、また現在は、自民党の観光立国調査会の事務局長としても、熱心に観光政策に取り組んでいらっしゃいます。旅行業界としても心強い応援者であり、並々ならぬご支援を頂いております ことを大変感謝致しております。

観光は、宿泊や運輸、旅行等の観光業界だけでなく、農林水産業からあらゆる産業が関連する裾野の広い分野であり、地域経済活性化の切り札としても期待が集まっています。

訪日旅行者も２０００万人時代が目の前に迫ってきているなか、旅行需要を大都市からいかに地方に分散させていくことができるかが課題となっています。地域の魅力を国内外にアピールしていくには、観光だけではなく、地域の伝統芸能や工芸品、食材等、魅力ある素材を発掘して、商品化し、流通させ、継続的なプロモーションを行っていかなければなりません。そのためには、観光を支える人材の育成、関係者の一体化、産業間の連携、官民一体となった施策の実行等が必要とされます。

和歌山県には日本の原風景が残っており、紀伊山地に抱かれた自然豊かな環境、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された熊野古道、開創１２００年を迎えた高野山など魅力ある観光素材が豊富にあります。旅行業界としても国内外にその魅力を発信して、交流人口拡大のお手伝いをしていきたいと思います。

鶴保先生の強いリーダーシップのもと、和歌山県から観光による「地方創生」を実現させ、観光立国を推進していただきたいと思います。今後も豊富なご経験を発揮され、益々のご活躍を心から期待申し上げます。

観光・災害対策のリーダーシップにさらに期待

和歌山県観光連盟副会長（白浜観光協会会長）　沼田　久博

鶴保先生には、国政の場より和歌山県の観光発展のため格別のご尽力を賜っておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

本年は、「高野山開創１２００年」「高速道路のすさみ南ＩＣまでの開通」「紀の国和歌山国体の開催」と、和歌山県の観光にとり大躍進となり、鶴保先生の並々ならぬご尽力にたいへん感謝をいたしております。

また、国土交通副大臣時代に訪日外国人観光客の集客にご尽力いただいたことが和歌山にとりましてインバウンド集客増につながったこと、この上ない感謝でございます。現在では香港・中国本土・台湾のお客様に人気がでておりますが、欧米方面アジア方面からのお客様も増加傾向にあり、今後も期待のもてる取り組みであります。また、海外からのＬＣＣ便の南紀白浜空港への誘致も地元の大きな期待となっております。

開通した高速道路は観光和歌山にとり待望のオープンでありましたが、一方で災害時になくてはならない「命の道」とも言われています。この道路によって地域住民のあるいは観光客の助けになることは間違いありません。また、先の東日本大震災時に避難場所が少なく、多くの被災者が大変苦労されたことは国民全体の課題でもありました。耐震化法により全国の改正建築基準法以前の宿泊施設を国の補助金で新基準に改修できるようにし、強固になった宿泊施設を避難所として使えるものとしました。古くなった宿泊施設は新しくよみがえります。鶴保先生にはこのように将来を見通した観光面あるいは災害に対しての大きな備えをして頂いたことであります。観光産業にとりましては、まだまだ多くの課題もあります。

今後も鶴保先生の豊富なご経験と卓越したリーダーシップにより益々のご活躍を心よりご期待申し上げます。

活動報告

❶

❷

❸

慶風高校創立10周年で祝辞

学校法人田原学園が和歌山県内初の私立通信制高校として2005年4月に設立した慶風高校（海草郡紀美野町、田原サヨ子校長）が創立10周年を迎え、その記念式典に鶴保庸介議員が参列、祝辞を述べました。

同校は、通信制ながら地域に根を下ろした教育をモットーに、基礎学力の充実に加え、野球、テニス、ゴルフ部のスポーツクラブの活動に力を入れ、全国大会で活躍する選手も輩出しています。

式典では、今年3月にブルネイ王国立ヤヤサン高校と姉妹提携を結んだことなども報告され、今後のさらなる発展を期待する声が会場に溢れ、田原校長も、それに応える決意を力強く語っていました。〈5・16　和歌山市・ホテルアバローム紀の国〉❶

県病院協会の懇親会

和歌山県病院協会の第75回通常総会懇親会で、地域医療を支えている関係のみなさまの日々のご尽力に感謝する挨拶をしました。

同協会の成川守彦会長（千徳会理事長＝③参照）は、公益社団法人全日本病院協会（約2440病院加入）の和歌山県支部長でもあり、平成27年度全日本病院協会の夏期研修会」を地元のホテルラフォーレ南紀白浜で開催することなども報告していました（7月に開催されました）。〈5・16　アバローム紀の国〉❷

桜ヶ丘病院の新築移転を祝う

医療法人千徳会がJR紀勢線・箕島駅前に進めてきた桜ヶ丘病院の新築工事が完成、その竣工式に出席して、地域医療に打ち込まれているみなさんの不断のご尽力ご努力に感謝をしつつ、新築・移転にお祝いの辞を。

和歌山県病院協会会長でもある千徳会・成川守彦理事長は、「今後、有田市の中核病院として住民からさらに信頼される医療・介護の提供を実践していきます」と新病院完成の喜びとともに強い意気込みを示す挨拶を行っていました。

成川暢彦院長の謝辞の後、参列者による新病院の内覧会が行われました。鶴保議員は、仁坂吉伸県知事らとともに、ていねいな説明を受けながら、最新設備が整う5階建ての新病院の中を見て回りました。〈6・14　有田市箕島〉❸

紀南病院は移転10周年式典

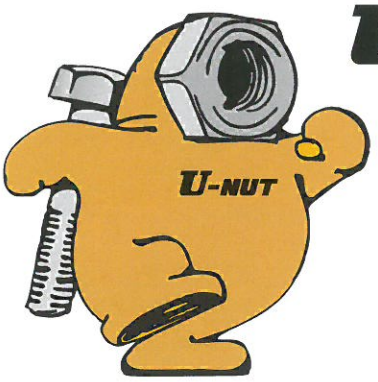
公立紀南病院組合（管理者＝真砂充敏田辺市長）が運営する紀南病院は新築移転10周年・創立70周年を迎えて記念式典。鶴保議員も参列して祝辞を述べました。

紀南病院は「創立70周年」が示すように、終戦4ヵ月後の昭和20年

弛ぎない品質を未来へ

国土交通省 新技術情報提供システム NETIS
登録No. KT-130064-A
新技術名称 U-ナット

MANAGEMENT SYSTEM CERTIFICATION DNV·GL ISO 9001＝ISO 14001 JAB MGMT.SYS. RvA C024



U-NUT®　FINE U-NUT®

ゆるみ止めナットの総合メーカー
株式会社 冨士精密
Fuji Seimitsu Co.,Ltd.
代表取締役社長　和田　博行
本社：〒561-0845　大阪府豊中市利倉 3-14-15
TEL:06-6862-3112　FAX:06-6862-9880
http://www.fun.co.jp
東京支店　TEL:03-5626-1061
福岡営業所　TEL:092-411-1551

❹

❺

❻

12月に田辺市と周辺37町村によって同市東陽に71床で開設されました（現在は田辺市・白浜町・上富田町・みなべ町の1市3町）。その後、増設、拡大、付属高等看護学院（現・紀南看護専門学校）や新庄別館（現・紀南こころの医療センター）を設置、平成17年5月には現在の田辺市新庄町に新築・移転、紀南の中核病院として信頼される医療を提供し続けています。地域の期待に応え、今後のさらなる発展を願っています。

〈6・14　田辺市シティプラザホテル〉❹

トラック協会青年協議会で講演

地域の物流をになう運送業などの若手経営者が中心メンバーとなって活動をしている和歌山県トラック協会青年協議会の平成27年度通常総会並びに経営研修会が開かれ、鶴保議員が今年も参加、登壇し、国政報告を含む講演を行いました。

〈6・6　ルミエール華月殿〉❺

❼

受章おめでとうございます

平成27年春の叙勲（4月29日発令）の県関係の受章者は42人（うち女性6人）、女性で唯一人、旭日単光章を受章した県母子寡婦福祉連合会会長の矢野佳世子さんの受章記念祝賀会で、慰労と感謝を込め、祝辞を述べました。

矢野さんは長年、橋本市の母子寡婦福祉連合会で母子・寡婦家庭の福祉向上と子どもの健全育成、情報交換や行事を通じての助け合い、親睦を図る取り組みに尽力してきました（平成10年から会長）。

また、県連合会では平成18年から副会長、平成26年から会長として、ひとり親家庭の自立支援（施設の運営）、就労斡旋、指導者研修など、さまざまな取り組みを行っています。その献身的な活動が高く評価されました。おめでとうございます。

〈6・20　橋本商工会館〉❻

ものづくりで世界に羽ばたけ

世界最大級のものづくり専門展「日本ものづくりワールド2015」（リードエグジビションジャパン主催）。

毎年、世界から出展社が集まり、設計・開発、製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場して活発な商談が行われています。

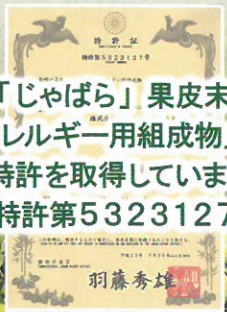
東京で3日間にわたって開かれたこの専門展に、和歌山からは集団出展で10社、単独出展で1社が自社

日本じゃばら普及協会

和歌山県北山村
特産品

「じゃばら」の果皮は、花粉症やアトピー等のI型アレルギーに効果が期待できます。大阪薬科大学生薬科学研究室で研究が進めらており、本協会は「じゃばら」の普及に努めています。

入浴蕩（じゃばら果皮末配合）



「じゃばら」果皮末は
「抗アレルギー用組成物」として
特許を取得しています。
（特許第5323127号）

柑橘「じゃばら」

日本じゃばら普及協会
事務局：東京都港区芝浦 3-7-8-203
株式会社ラメール内　TEL03-5439-9195

⑩

⑨

⑧

製品をPRして、販路開拓・拡大のきっかけとするために出展しました。

鶴保議員は会期2日目、県内企業のブースを視察、激励しました。

〈6・25　東京ビッグサイト〉❼

元橋本市長の受章記念祝賀会

元橋本市長の木下善之さんが、今年の春の叙勲で旭日中綬章を受章。その記念祝賀会が多数の関係者を集めて開かれました。

鶴保議員も参列、橋本市長時代の木下さんとの交流などを振り返りながら、謝辞と祝辞を述べました。

〈7・11　橋本商工会館〉❽

橋本市消防団に最高の栄誉！

橋本市消防団が日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章（3月10日）。その受章記念祝賀会が盛大に開かれ、鶴保議員も駆けつけて、みなさんに祝辞を。

特別表彰「まとい」は、昭和54年の創設以来、全国の消防団の中から毎年度、成績抜群と認められた10団に限り授与されるもので、消防団にとっては最高の栄誉とされているものです。

受章は、長年にわたる消防業務や啓発・防災訓練実施などに加え、ポンプ操法大会の優秀な成績などが認められた結果です。

おめでとうございます。みなさんの今後のさらなる活躍を期待しています。

〈7・4　橋本商工会館〉❾

税理士のみなさんが後援会を！

ありがとうございます。税理士のみなさんに後援会をつくっていただきました（「税理士による鶴保庸介後援会」）。その設立総会は、刀祢真大発起人の開会宣言の後、後援会規約や役員選任、活動計画などの説明、議決などが行われ、後援会会長に川邑宗司発起人代表が選任されました。

川邑会長の就任挨拶、そして来賓の大高友紀近畿税理士政治連盟会長の祝辞などを受け、鶴保議員が謝辞とともに国政報告を行いました。

その後、懇親会が開かれ、みなさんにお礼の挨拶をして回り、親しく情報交換なども行いました。

〈7・4　アバローム紀の国〉❿

観光PR願い高野山町石道を

京奈和道に5月オープンの道の駅「かつらぎ西」の物産販売所を運営しているかつらぎ町の「まちづくりかつらぎ」の役員のみなさんとともに、世界遺産まである豊かな町の観光資源のアピールを祈願して、高野山町石道（ちょういしみち）のハイキングを行いました。

町石道は、九度山の慈尊院から高野山奥の院の御廟まで約24キロの道。1町（約100m）おきに道標の町石（一部は里石）が立ち並ぶ史跡です。

町石の多くは創建時のまま700年以上も風雪に耐え抜き、昭和52年

⑬

⑫

⑪

⑭

7月に「国の史跡」に指定されました（平成に大改修が行われました）。

この高野山表参道で人びとは1町毎に、この町石に手を合わせて、二世安楽、欣求浄土を祈ったとも言われています。

緑に覆われた坂道を歩み、汗を流し、爽やかな風を浴びながら、歴史や古の人びとに思いを馳せる――素晴らしいひと時でした。

〈7・5　慈尊院〉⑪

林芳正農水大臣がゲスト講演

那智勝浦町後援会による恒例の「鶴保庸介国政報告会」。今回は、ゲストにTPP対策などでもお忙しい、林芳正農林水産大臣をお迎えして、非常に中身の濃い国政報告会となりました。

林大臣には、東京パーティ「鶴保庸介君と明日の日本を語る会」（p16）にもご出席、ご登壇いただき、大変感謝をしております。〈7・26　那智勝浦体育文化会館〉⑫

有田川町制施行10周年

「平成の大合併」で吉備町、金屋町、清水町が合併して平成18年1月1日に誕生した有田川町（人口約2万7000人）。その町制施行10周年記念式典に来賓として出席して祝辞を述べました。

式典には二階俊博先生や仁坂知事らも出席。中山正隆町長は、これまでの歩みを振り返るとともに、「持続的発展」「地方創生」に向けた戦略「町民と協働の町づくり」で今後のさらなる発展に取り組んでいくと強調していました。

〈8・30　金屋文化保健センター〉⑬

彌栄祭でお祝いと激励

医療・福祉・保健の各分野で地域密着のサービスを提供している医療法人彌栄会（岩出市）が、この夏も名物イベント「彌栄祭（いやさかまつり）～夏の陣～」を介護老人保健施設やよい苑で開きました。

いよいよ開幕の「2015年紀の国わかやま国体」の大会マスコット「きいちゃん」のダンスがオープニングを飾りましたが、国体には同法人アーチェリー部から2名の選手が県代表で出場し、戦います。部員もダンスで勢いを付け、その後の式典で、鶴保議員が、職員、関係者のみなさんに慰労と感謝を込めた祝辞を。〈8・8　岩出市中迫〉⑭

KONOIKEグループは、高い品質のサービスを提供し、
世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つ
プロフェッショナルサービス集団を目指します。

KONOIKE GROUP

鴻池運輸株式会社
Konoike Transport Co.,Ltd.
代表取締役社長　鴻池忠彦
本　　社　〒541-0044　大阪市中央区伏見町4-3-9　TEL 06-6227-4600（代表）

■グループ会社
㈱エコイノベーション
鳳テック㈱
コウノイケ・エキスプレス㈱
コウノイケ・エンジニアリング㈱
千代田検査工業㈱
㈱キャリア・サービス
コウノイケ・コーポレートサービス㈱
㈱Kグランドサービス
㈱Kスカイ
㈱Kグランドエキスパート
ケービーエス㈱
コウノイケ・エアポートサービス㈱
九州産交運輸㈱
㈱産交運輸物流サービス
鴻池メディカル㈱
関西陸運㈱
此花運輸㈱
㈱昭和倉庫
日本空輸㈱
前川運輸㈱
コウノイケ・シッピング㈱
佐野運輸㈱
㈱ニチウン
コウノイケ・ビジネスマネージメント㈱
KONOIKE-PACIFIC CALIFORNIA,INC.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(USA),INC.
KONOIKE-GENERAL,INC.
KONOIKE-E STREET,INC.
KONOIKE MEXICO S.A.de C.V.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(H.K.)LTD.
鴻池国際貨運(深圳)有限公司
青島遠洋鴻池物流有限公司
鴻池物流(上海)有限公司
鴻池垂綱亜物流(江蘇)有限公司
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS LTD.
創業國際貨運代理(中國)有限公司
創業國際物流股份有限公司
BEL SUPPLY CHAIN SOLUTIONS LTD.
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS VIETNAM COMPANY LTD.
PKI MANUFACTURING & TECHNOLOGY,INC.
PT. KONOIKE TRANSPORT INDONESIA
KONOIKE VINATRANS LOGISTICS CO.,LTD.
ANPHA-AG JOINT STOCK COMPANY
VINAKO FORWARDING CO.,LTD.
KONOIKE ASIA(CAMBODIA)CO.,LTD.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(S)PTE LTD.
KONOIKE ASIA(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE COOL LOGISTICS(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE EXPRESS(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE-SOTUS VENTURE CO.,LTD.
KONOIKE ASIA(MYANMAR)CO.,LTD.
KONOIKE-EURO LOGISTICS(BANGLADESH)LTD.
KONOIKE ASIA(INDIA)PVT.LTD.
CARNA MEDICAL DATABASE PVT.LTD.

鶴の間

交流写真館

海南市懇親会
（6.27　海南保健福祉センター）

新鶴会懇親会
（6.7　まさ家）

理容組合海南支部との会合
（3.15　銀鈴）

土地家屋調査士会・青年部との会合
（7.25　一橋庵）

辻井グループと仲間たち(市職＆ＯＢ)
（5.16　バベーネ）

上富田町国政報告会＆懇親会
（8.30　朝日リゾートホテル白浜）

青年部連合会ゴルフコンペ表彰式
（5.30　和歌山マリーナシティホテル）

田原サヨ子「シルバーユニオンわかやま笑の会」で国政報告会・懇親会
（7.25　がんこ和歌山六三園）田原さんは、慶風高校校長（p11参照）

紀美野町懇親会
（6.20　総合福祉センター）

淡路さん・みねやん他飲み会
（6.6　サンスイ）

TEMPUR　Sealy

株式会社スリープセレクト
本社 / AOYAMA
東京都港区北青山2-13-5 青山サンクレストビル2F
TEL 03-5413-5135　FAX 03-5413-6777
東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩約2分

SAPPORO / SENDAI EBeanS / Isesaki Garden's / NAGANO / SAITAMASHINTOSHIN / AOYAMA / Colette・Mare みなとみらい / NAGOYA / イオンモール名古屋みなと / イオンモールナゴヤドーム前 / KANAZAWA / SHINSAIBASHI / KOKURA / FUKUOKA
(2015.9.16 池袋サンシャインシティOPEN!)

スリープセレクトでは、世界有数のマットレスブランド テンピュール®、シーリーを始め、多数のマットレスやピローなどを展示しております。　SLEEP SELECT　検索

先の先を読み、いまやるべきことを！

政策推進・実現力への期待と決意

「自由民主党参議院政策審議会長　鶴保庸介君と明日の日本を語る会」東京で

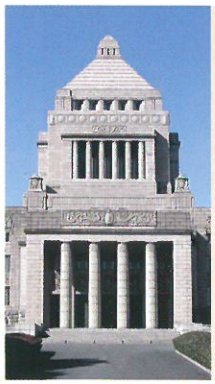
写真上から、樋口会長、激励に駆けつけていただいた林芳正農水大臣、稲田朋美自民党政調会長、河村健夫元内閣官房長官

恒例の「自由民主党参議院政策審議会長　鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が4月3日、東京・白金台のシェラトン都ホテル東京で開かれました。

第一部は住宅産業のパイオニア、大和ハウス工業の樋口武男会長の講演「先の先を読む経営・複眼経営者石原信夫に学ぶ」。同社創業者の経営発想それを継承する樋口会長の戦略などを語っていただきました。同社は介護・建設現場などで期待の大きい装着型ロボットの筑波大発ベンチャー、サイバーダインの支援企業としても知られています。鶴保議員が大切にする言葉「遠図（えんと）」にも通じる発想は多くの方に感銘を与えていたようです。

やはり、先を読んでいち早く政策の推進、実現を――第二部懇親会の来賓、ご参会の皆様の言葉にも、鶴保政審会長の政策推進・実現力への期待が込められていました。鶴保議員も、「いまやるべきことをしっかりやっていきます」と力強く決意を表明し、ご参会の皆様のご支援に心からの謝辞を。会には写真（左）の先生方のほか、二階俊博自民党総務会長はじめ小倉将信・大岡敏孝衆議院議員などの諸先生方にも臨席・激励していただきました。

皆様、ありがとうございました。



編集後記

A．国会議員の人たちはスーツの襟に金色のバッジをつけているよね？
B．あれは「議員記章」というんだ。都道府県や市町村議会にもあるよ。
A．バッジを着けていないと何か困ることがあるの？
B．国会議員の場合、本会議場に入るときに議員記章を着用することになっているから、ないと入れないんだ。かつて福田赳夫首相がバッジを着用せずに議場に入ろうとして衛視に制止されたという有名なエピソードも残っているよ。
A．顔パスが利かないんだ。じゃあ、紛失したら一大事だ。
B．実際、失くして新しく購入する先生もいるようだよ。議員バッジは衆参で色や形がちょっと違っていてね、中央の菊花模様の金属部分が参議院のものが一回り大きい金張り（周りのモールが紺色）、衆議院のものは金メッキ（モールが赤紫）。参議院のバッジは16,000円程度。衆議院のものより高いんだ。もちろん、鶴保先生は失くしたことはないよ。（K）

●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。
http://www.tsuruho.com/

鶴保庸介事務所

〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313　FAX.03(6551)0313
E-mail：info@tsuruho.com